

「第9回東北ヘルニア研究会」開催のご案内

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今年度の東北ヘルニア研究会の当番世話人をさせて頂くことになった、つがる総合病院の八木橋です。東北ヘルニア研究会の世話人の先生方をはじめ、多くの協賛企業や関係者のご協力により、東北ヘルニア研究会も9回目を迎える事となりました。

単径部ヘルニアや腹壁癒痕ヘルニアに対する治療は、最近では腹腔鏡下手術で行われることが飛躍的に増加しております。しかし腹腔鏡下手術法は単径部ヘルニアで再発率が従来法に比しやや高くまだ改善の余地があり、腹壁癒痕ヘルニアでも手術適応、手術法などまだ解決されていない問題があることが指摘されております。

今回の特別講演では、浜松医科大学外科学第1外科講師、一般外科内視鏡外科科長 和田英俊先生をお招きし、evidenceに基づいたTAPP-LHについてご講演を賜ることになりました。

更に、ランチョンセミナーでは、川口市立医療センター消化器外科部長 中林幸夫先生に腹壁癒痕ヘルニアについてのご講演を頂きます。

腹腔鏡下ヘルニア手術を更に深く理解するには適任の両先生のご講演と思われれます。また、今回のシンポジウムは“ヘルニア手術のpitfall”と致しました。各手術における従来法、腹腔鏡下ヘルニア手術などに伴うpitfallを皆で出し合い共有して、あしたからのヘルニア治療に役立てていければと存じます。

皆様には、シンポジウムと共に一般演題の応募を宜しくお願いいたします。小児、成人鼠径部ヘルニアに限らず、腹壁癒痕ヘルニア、腹部のヘルニアに関する演題であれば何でも構いません。盛岡で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

謹白

2016年7月吉日

第9回東北ヘルニア研究会 当番世話人
西北五広域連合つがる総合病院 一般内視鏡心血管呼吸器乳腺外科
八木橋信夫